



かがり火

◆ 雑 感 ◆

副団委員長 井上 治

今年も早や1ヶ月がすぎ、毎日寒い日が続いていますが、皆様方にはご健勝でご活躍のことと思います。

少し古い話で、私事ではありますが、我が家では新年を迎えるに当たり、毎年人手の関係で、息子とその友人の休みの日、大晦日に「おもち」をついています。

ブロックを2段ずつ積み上げ、3面を囲った炉を作り、その上に鉄釜を置き、薪を燃やし、蒸気でもち米を蒸し、それを臼と杵でつきあげ、おもちを仕上げるのです。こうして出来上がった手作りのもちの味は格別のように思います。

薪を燃やす役目は私です。私がボーイスカウトだった頃は、キャンプで食事を作るときは、常に薪や枯れ枝を燃やして食事を作っていました。

その時の経験で、マッチで新聞紙に火をつけ、小枝からだんだん大きな本に火を広げていく事や、常に空気が入るようにすき間を作る事などを学んできた体験があるので、煙をあまり出さずに燃やせるので、火たきは得意です

薪の炎を見ていると、キャンプ・ファイヤーを思い出し、心が落ち着きます。

夏の夜の涼しい風に吹かれながら、ファイヤーを皆で囲み、隊長の夜話を聞いて過した少年時代が思い出されます。大自然を友とし、その中で活動するボーイスカウトはいつの時代でも大切なものだなと思っています。

保護者の皆様にも少し体験していただこうと、7月20日～21日には、団行事として、キャンプ講座を予定しております。

話は飛びますが、我が枚方第2団に目を向けますと、今年の課題は次の二つに集約できるのではないのでしょうか。

- ① 各隊の隊員(子ども)の数の拡大
- ② 団委員・隊指導者数の不足の解消

だと思います

①については、入隊者を増やすことと、中途退団者をなくすことです。ビーバー隊からローバー隊までの隊員の登録者数は、平成21年度の28名から平成24年度の37名と幸い増加しています。(いずれも育成会総会の資料より)これは保護者の皆様方の口コミ等による、宣伝舌動のお陰もあると思います。しかし組舌動、斑活動を充実していくには人数不足です。なお一層の宣伝や入隊の勧誘を団と一緒に頑張りましょう。途中退団者は幸い今の所少ないですが、隊に不満があるから退団するのでなく、その不満を隊指導者や団委員に伝えてもらい、団として退団しなくて良い方法は無いかどうか、いわゆる「団家族」の立場で解決していくことが大切です。

②については、現在ボーイ隊以上の指導者が特に不足しています。又、団委員も常に動ける人数は、5～6名に減ってきています(高齢化のため)。若いリーダーや団委員が必要です。保護者の皆さんで、条件の許す方は是非団委員になって頂きたいのです。団委員の仕事は、月1回の団委員会に出席していただき、隊からの支援依頼があった時に、隊員達の活動を側面から援助してもらう事です。

団委員になってもらうことで、我が子だけでなく、全体を見ることで、子どもを見る目も変わってくるのです。

この二つの課題に向け、枚方第2団の発展のために「団家族」の立場で指導者、団委員、保護者の皆さんが一体となり、子ども(隊員)のために、より良いものを作り上げて行こうではありませんか。

団からのお知らせ

【 「もったいない寄付」のお願い 】

ボーイスカウト日本連盟では、「書き損じハガキ回収プロジェクト」を実施いたします。

これは、全国の皆様のご家庭にある書き損じハガキなどを提供頂き、日本連盟で換金し、「もったいない寄付」とするものです。

「もったいない寄付」は、経済的な理由でボーイスカウトに参加できない子どもたちの活動資金を助成するために活用し、これには東日本大震災、福島第一原発事故の被害にあわれた家族も含まれます。

多くの地域でたくさん子どもたちが困っています。子どもたちの自殺、虐待、いじめ、孤独…。私達に見過ごせない実情があります。これらの子どもたちがスカウト活動に参加することで、救われることがたくさんあります。

今回、お願いする書き損じハガキ回収は、ぜひ、多くの子どもたちの未来を救うために、趣旨ご説明のうえ、ご協力の呼びかけをお願いいたします。

(日本連照依頼文より抜粋)

これを受け、私たちの団も賛同し協力したいと思います。

今回は、平成25年4月末日までに、各隊集会時に、隊指導者までお届けください。団でまとめて、日本連盟へ送付いたします。

あなたの家の不用品が、スカウト活動の大きな支援になります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- ・ 年賀ハガキ・官製ハガキ(書損じ・未使用)
- ・ 未使用・使用済み切手(小袋等で未使用と使用済みをお分けください)
- ・ 未使用、使用中のテレホンカード・プリペイドカード(使用済みは不可)
- ・ その他外国紙幣(コイン不可)、金・銀・プラチナ製貴金属(一部分・破損品も可)など

団委員及び指導者への連絡

【 団会議 】

日時：2月17日(日) 18:00～
場所：本部

【 団委員会 】

日時：2月22日(土) 18:00～
場所：本部

新 知 故 温

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

指導者は青少年の よい理解者でなければならない

著 者 不 詳

(4) 愛の鞭などというものはないということ

人間誰でも相手をなぐるとき、その瞬間の感情は怒りです。「お前がかわいいからこそなぐのだ」とは、自己欺瞞もはなはだしいと思います。ボランティアで、誰に頼まれたのでもなく、青少年のためにと一生涯懸命やっている人の心の中には「自分は子どものために何も求めることなく奉仕しているのだから、子どもたちだって、自分のこの気持ちに素直にこたえてくれるはずだ」という期待がいつもあるのです。それが何かのことで、子どもがいうことを聞かなかったり、命令に反したことをしたりして、その期待を裏切ると、それに対する怒りが表面にあらわれて、それがなぐるといふ行為となります。

しかし、どんなに腹が立っても、決して、人をなぐってはいけません。青少年たちは決して感謝などしません。

(5) 認めてもらいたいという気持ちを知ること

誰だって、人からよく思われたい、自分を認めてもらいたいと思っているものです。

「君には、なかなかいい所があるんだな」というひとことで、その子は、ぐっと身近かに引き寄せられてしまうのです。

(6) 吐瀉が必要であること

青少年が、学校の不満や、教師に対する不平をいって来たら聞いてやってほしい、親をなじっても黙って聞いてやってほしいと思います。人間誰でも、不平不満がたまると、どこかで吐き出したくなるのです。吐き出す相手がないと、罪もない小犬をけとぼしてみたりするのです。しんみになって聞いてくれる人ならば誰でもいいのです。黙って真剣に聞いてくれる相手を見つけて、心のわだかまりを吐き出せばいいのです。問題は解決しなくても、それでなんとなくさっぱりするものなのです。

(7) その他

まだまだこのようなことはたくさんあります。「自分にできないことを子どもに要求してはいけません」とか、「怒ることは必要だが、怒らされてはいけません」とか、「子どもに注意を与えるときは、時と場を考えなくてははいけません」とか数えあげればきりがありません。つねに、自分がもし、こういわれたり、こういう態度で相手に出られたら、どう思うだろうかということを考えて、ものをいい、行動をするならば、青少年たちのよい理解者になれるでしょう。(Y)

世の中で 一番楽しく立派なことは
生涯を貫く仕事を

持っていることです

世の中で 一番みじめなことは

人間としての 教養のないことです

世の中で 一番淋しいことは

情熱を燃やせる仕事の無いことです

世の中で 一番醜いことは

他人の仕事を うらやむことです

世の中で 一番尊いことは

他人の為に奉仕して

決して恩を着せないことです

世の中で 一番美しいことは

全てのものに 愛情を持つことです

世の中で 一番悲しいことは

嘘を つくことです

【2月各隊活動予定】

◇ ビーパー ◇

	2月10日(日)	2月17日(日)
タイトル	たこ揚げ大会	地区合同「B-P 祭」
時間	8:45～12:15 予定	8:15～15:30
集合	枚方市駅ケーブルテレビ後	枚方市駅ケーブルテレビ後
場所	太間公園	キャンプおおさか

◇ カブ ◇

『テーマ: 全員集合 出発進行』 《目標: 協調性を養う》
[ねらい: 発表会(パントマイム)]

	組 集 会	地区行事	隊 集 会
1組	2月3日(日) 南部生涯学習センター	2月17日(日) 地区合同「B-P 祭」	2月23日(日) ナイトハイク
2組	2月3日(日) サンプラザ生涯学習センター	キャンプおおさか	詳細は後刻連絡

※ リーダー会議 別途連絡

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「耳そばだてて…」 活動内容: ハイキング(オーバーナイトハイク)
活動目的: 地図とコンパス・観察

集会種別	班集会	地区「B-P 祭」	隊 集 会	
日 程	2月10日(日)	2月17日(日)	2月23日(土)～24日(日)	2月2日(日)
時 間	9:00～		21:00～	9:00～
場 所	淀川河川敷	キャンプおおさか	大阪城譜面	本部
備 考		詳細後刻	本部～淀川空大川～大阪城	兼 GB 訓練

◇ ベンチャー ◇

2月16日(土)～17日(日)	2月23日(土)～24日(日)	2月6日(水)・27日(水)
合同地区「B-P 祭」	BS オーバーナイトハイク支援	ベンチャー集会
16日 16:00 本部集合		19:30～
キャンプおおさか	本部～淀川～大川から大阪城	本部